

不具合報告書 使用中止要請

令和7年6月17日

あきる野市社会福祉協議会 自走式車いす64号車

不具合内容

折り畳み状態から使用する際、展開時にシートレールがガイドに正しく収まらない
確認

令和7年6月17日確認。

本体フレーム・クロスフレームに0.3~0.5mm程歪みが出ている。

原因

中途半端に展開し、シートレールがガイドに正しく収まらない地点、ガイドの内側に入り込んでしまった状態で使用してしまい、それが繰り返されて本体フレームとクロスフレームにクセがついてしまったものと推察する。フレームはアルミ製品であり強度は鉄より低い
ため、スチールフレームよりはこうした事態になりやすい特性はある。

修理

メーカーに相談後、分解してハンマー及び万力で修正を試みたが修正には至らず、通常の修理では不可であった。アルミ製品であるため、あまり強引な修正を行うとヒビ、破損が生じてしまう。

当点検・原状回復では「フレームに対する修理は不可である」事を掲げており、これ以上の原状回復はフレームの交換以外は不可であるという結論に至った。

対応策

- ① 使用不可とする（フレーム異常につき、完璧に安全とは言えないため）
- ② 利用者に対し使用上の注意事項として明確に伝え、注意して使用してもらう
- ③ フレーム交換による修理（但し新品を購入したほうが安い）
- ④ 職員側での介助（利用者に任せずに職員側が操作、介助する部署での利用、移送など）
でのみ、注意して使用する

見解

利用者（介助者）が状態を把握し、展開の際に毎回指でガイドに収めれば通常の使用には耐えられると考えるが、これを怠った際に事故へとつながる事は容易に想像ができる。

当法人の見解としては使用を中止し、廃車か修理または購入を検討して頂く事が望ましい。

令和7年6月17日

特定非営利活動法人くるまいす

理事長 富澤 弘治